高齢者パワー活用と地域づくりの新しい取り組み

「協同労働」活用のプロジェクトを支援

高齢化が進展する中、元気な高齢者は社会の大切な支え手です。市は、意欲のある高齢者が地域課題の解決に取り組むプロジェクトの立ち上げを、補助金の交付などで支援します。
問雇用推進課(☎504-2244、F 504-2259)

地域づくりが生きがいに変わる働き方

高齢化が進む中、高齢者の就労や社会参加への意欲や能力を生かせる場が求められています。一方、少子・高齢化や核家族化に伴って、地域にはさまざまな課題が浮かび上がってきており、それらを解決するための人材の確保や、仕組み作りが急務となっています。

こうした課題を解決するために、市は平成26年度から「協同労働」という新しい働き方の概念を取り入れたモデル事業を開始しました。

「協同労働」は、地域が抱える課題を、地域の人・モノなどの資源を生かしながら、対価として収入を得るなどビジネス的手法で解決しようとする働き方の一つです。

事業を行う構成員全員が「出資者」「経営者」「労働者」となり、それぞれの能力を生かしながら、役割と責任を担うことにより、働く人の主体性が生まれ、生きがいを創出し、地域の活性化につながります。

2方向からの支援

市は協同労働モデル事業を、2方向から支援し進めています。

このうち「協同労働プラットフォーム事業」は、市が委託した事業者がシンポジウムや勉強会の開催、事業化に向けた支援などを行うものです。

もう一つの「個別プロジェクト立ち上げ支援事業」は、市民の皆さんが地域課題の解決に取り組むため、協同労働の仕組みを活用したプロジェクトの立ち上げに必要な経費に対し、市から補助金を交付するものです。

26年度は、4団体が補助金を活用し、プロジェクトを開始しています。

- 河津川(こうづがわ)プロジェクト(安佐北区白木町)／農業やわら細工技術の継承など
- ひねもすようこそ(安佐北区白木町)／障害児者支援・地域サロンなど
- ケサラ(安佐北区可部町)／多世代サロン、地域活動スペース提供など
- タンポポのわたげ(安佐北区亀崎)／おうちサロン、空き家管理など

今年度の補助対象プロジェクトは、11月中旬から12月中旬に募集する予定です。

プロジェクトを立ち上げてみたい人や興味のある人は、まずは下記のシンポジウムにご参加いただくか、協同労働プラットフォームにお気軽にお尋ねください。

問協同労働プラットフォーム
(愛称・らぼーろひろしま)
☎879-2301、F 879-2302
【所在地】〒731-0103 安佐南区緑井二丁目8-14 中通ビル103号
【活動内容をインターネットで公開中】
http://lavoro-hiroshima.blog.jp/

活動団体にお聞きしました

障害者が地域で暮らせる場・地域の憩いの場を作りたい

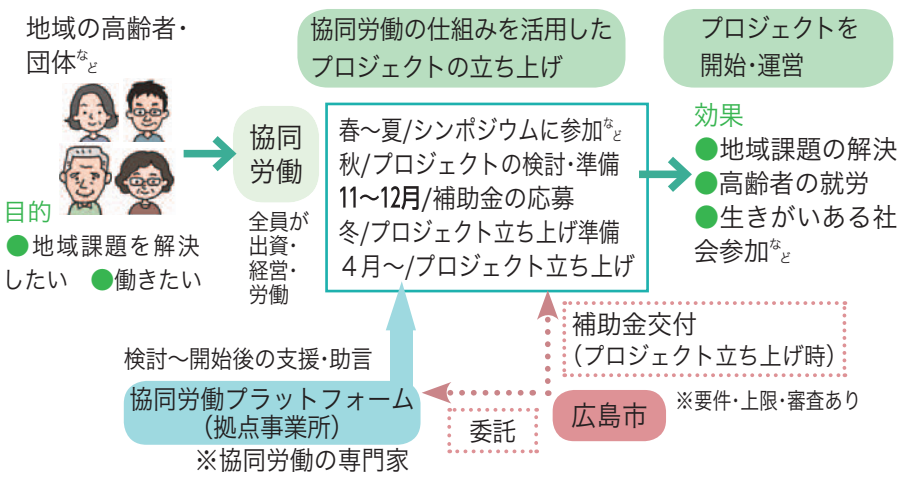
ひねもすようこそ代表
池岡洋子(ようこ)さん(59)

以前からNPO法人で、地域の障害者支援のボランティア活動をしていました。協同労働を知り、活動の幅が広がりました。地域の高齢者に参加してもらって市の補助を利用する事ができました。障害児を一時預かりする場所、ライブや文化教室が開催できる地域サロン、高齢者の困りごと支援などの活動を始めています。

協同労働はボランティアとは違い対価として収入を得たり、自ら出資するので、ボランティア以上に責任感が生まれます。

身近に困っている人を、地域のつながりの中でお手伝いできるのが良いですね。地域の皆さんの応援や、市の補助・プラットフォームの支援もあるので心強いです。

「協同労働」の仕組みを活用したプロジェクトのイメージ



ご参加ください

「協同労働」シンポジウム みんなが主役の働き方

記者として、雇用や高齢者福祉の問題などを幅広く取材してきた講師が、「協同労働」の可能性などを分かりやすく解説します。

日5月26日㈫午後6時～8時 場県民文化センター(中区大手町一丁目)
【講師】NHK解説委員・後藤千恵氏
申電話かファクスで、協同労働プラットフォーム(☎879-2301、F 879-2302)へ。先着500人